「創立１５年記念春季大運動会」に向けての抱負

今年も、各活動に一人一人がめあてをもって取り組み、振り返りまで行います。活動への意欲が、西っ子の成長、満足感、自己有用感につながるように支援しています。各家族でもめあてを確認願います。

１の１　浅理　真帆	１年生の全員リレーでは、バトンを落とさないようにして、本気で走りたいです。桜ダンスをじょうずにおどれるように練習したので、お母さんに見てほしいです。
２の１　稲富　心優	全員リレーをがんばります。練習では、白組がまだ勝っていないので、本番では勝ちたいです。友だちのことも、いっぱいおうえんしたいです。
３の１　松山　晟那	めあてをしっかりと立て、どの種目もあきらめずに最後までがんばりたいです。学年リレーは初めて本当のバトンをもつので、落とさず友だちにつなげたいです。
４の２　近野　心佳	１００m走をがんばりたいです。そのために家の周りや風の松原で走る練習をしたいです。手は大きくふるようにします。たくさん練習して１位になりたいです。
５の１　鈴木　百果	私が、運動会で特にがんばりたいことは、５年生の全員リレーです。バトンを次の人にしっかりとつなげて、自分のペースで走りたいという目標があります。
６の２　伊藤　奨真	運動会のめあては、遅くても、テーマどおりに全力で自分なりにがんばることです。６年生として、応援を盛り上げるなど自分の役割を果たしたいと思います。

淳城西小オリジナル作品　寄贈

秋田県立大学木材高度加工研究所よりBOOKスタンドを寄贈いただき、図書室で活用しています。杉の端材を利活用したオリジナル作品で、図書委員会の皆さんに組み立てをお願いし、お薦め本をディスプレイしています。委員たちが、貸し出し中のカードをつけるなど、随所に工夫も見られます。ぜひ、ご覧ください。

校長室だより

６次産業化を学ぶ

五年生は、ＪＡあきた白神の絶大なる支援を受けながら、白神ねぎを栽培し、農作業体験をしています。今年度は新たに、収穫したねぎを街で販売することになりました。これは、農業の六次産業化を学ぶ一つのきっかけとなります。六次産業化は、簡単に言うと、生産者（一次産業者）が加工（二次産業）と流通・販売（三次産業）も行い、経営の多角化を図ることです。一次・二次・三次のそれぞれの数字を掛け算したものが、六次であり、産業の融合を図り、新たな価値を生み出すことを意味しています。

農産物に付加価値をつけて販売できるようになると、所得の向上が見込め、雇用が創出されます。水、土など地域資源を利用することで、地域の風土や伝統、食文化などの持続的な保全が可能となります。また、観光客の増加、地域のブランド化などにより、地域の活性化も期待できます。

六次産業化に取り組む方々は、生産物の可能性を拡大するための新しいアイディアを常に模索しています。農業には無限の可能性があり、創意工夫で、大きなチャンスをつかめることをぜひ知ってほしいと思います。

５年生がネギとイモを定植

５年生は、ＪＡあきた白神さんの協力を得て、食農教育のために畑作体験を行っています。荷八田の畑に白神ねぎとジャガイモを定植してきました。子どもたちは、野菜が大きく育つことを願いながら、いつも楽しく体験活動に取り組んでいます。

ねぎ課の皆さんの白神ねぎ講座も受講しました。

食育では、畑作業が一番大事と、言われています。

思ったよりも力が必要だった定植作業。

祝　山田久志杯学童野球フェスティバル　準優勝　淳西小野球倶楽部